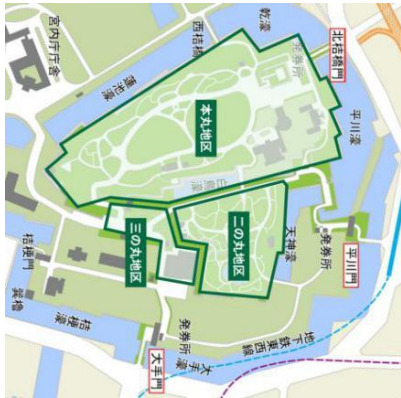


ARCO-152 20260421

皇居二の丸庭園 躑躅

ウォーキング2026

「朱に輝く美しい躑躅を観ながらウォーキングをしたい」と候補を探した。皇居東御苑4月のそれは、思いを叶えてくれそうだ。皇居へは度々訪れているのだけれど、二の丸庭園には何故か足を踏み入れていない。ユーチューブで調べてみると一面躑躅の情景が広がっている。



大手門↑ ↑二の丸庭園

皇居案内図



二の丸のツツジ(公園協会資料より)

皇居東御苑は、皇居造営の一環として昭和35年1月閣議決定に基づき、本丸・二の丸・三の丸の一部を皇居附属庭園として整備着工。昭和43年9月に完成。庭園は面積約21000㎡。昭和43年10月に公開されている。

躑躅の開花状況に合わせて28日(火)の予定を1週早め21日(火)実施に。



4月14日の世田谷区烏山ツツジ園にて

アクセス

地下鉄東西線荻窪駅から高田の馬場経由にて大手町駅へ。目指す大手門に一番近い駅が荻窪から直通で行けると言う有難い立地だ。WINGSメンバーとゲスト計5名は大手町駅改札前に9時55分集合・出発の予定も集合場所が各自よく解らずにまごつく。なんとか大手門に。



大手門/躑躅満開

皇居・江戸城入城

枡形門として重厚に構える大手門を潜る。左手に管理事務所が。記帳など不要だが簡単な手荷物検査を受けて入城させて頂く。「二の丸庭園は東御苑範囲の一部で、現在の回廊式庭園は1964年9代将軍家重の時代に作庭された庭園を基にして造営されている」とのこと。



二の丸庭園回り拡大図、〃〃、ウォーキングルート



大手門(枳形門内)

大手門から入城。管理事務所前から三の丸肖像館前を通過。皇室の概要・作品等スタディーしたいとは思っているけれど本年8月まで休館中。左手から皇宮警察の剣道場なのか「竹刀を振る声」が。同心番所前を左手に。



三の丸肖像館



同心番所

伊賀・甲賀他の忍者がその任に当たっていたと言う百人番所前の広場右手の名前のない道を登って行く。



百人番所



百人番所前から右側の坂を登って行く・結構広い！左側の潮見坂に比べれば緩い坂の3分の1程先を右手にターン。小径へと歩を進める。この先右手に折れると左手に二の丸新雑木林が。



二の丸新雑木林

新雑木林から周遊路へ

雑木林は、昭和天皇の発意にて作庭されているとのこと。ここの林の範囲は広くはない。白鳥壕沿いの林が本格的だ。

二の丸休憩所へ

たいした距離では無かったけれども坂を登って息切れして一休み。

休憩所北側対面のヤマツツジが朱色の花を付けている。「1週早めてよかった」。休憩所内は木製ベンチが無造作に置かれているだけで素気ない。



二の丸休憩所



菖蒲田

池泉回遊式庭園

二の丸庭園外周路から摺鉢状地形となり、規模はさほど大きくはないが和風庭園らしい景観を魅せている。池泉を二つに分けている小径を進む。小渓の右



斜面に白い点が無数に揺れる。シャガの密集だ。



ヤマツツジ

新雑木林横を周遊路へ

雑木林は、昭和天皇の発意にて作庭されている。新雑木林の範囲は広くはない。白鳥壕側が本格的で自然な感じを覚える。



雑木林



シャガの斜面

藤棚下を通り抜ける。藤が50m程白い房をなびかせている。



菖蒲田

周遊路に沿って進んで行く。菖蒲は5月が見頃。4月末現在まだ可愛い菖蒲の花芽も観せてくれない。ここの菖蒲は、来月訪れようかと考えている。明治神宮から移植されているそうだ。



藤の花

鱒長鯉

ヒレが大きく長い黄金に輝く鯉達が迎えてくれる。インドネシア産の鱒長鯉と日本の錦鯉を交配しているとのこと。



鱒長錦鯉



池泉庭園



休憩所



残り花の躑躅(結構咲いている箇所)

園路は

池泉庭園を二分割している。ウォーキングしやすいようにノンスリップ工夫された粗めなアスファルトの舗装にしてシニアにも優しい。以前は石組であった。



遊歩道

諏訪の茶屋へ(明治天皇御用休憩所)

園路を西に100m程進む。休憩ベンチ右手先方の位置、二の丸庭園の北端を守っているのが、この茶屋。茶屋というより茶殿と言いたい程のスケール。明治天皇御用休憩所と聞いて納得。前庭に朱色に染まった絨毯のごとくに躑躅が広がっていることを期待していたのだが、1週早めても遅かった。躑躅はすでに花を落とし一部わずかに名残を残すのみとなっていた。



躑躅の先残り

県の木ゾーン

諏訪の茶屋の左手では。宮崎県のフェニックスが存在を訴えていた。



県の木ゾーン

茶屋を白河濠北の石垣前へ

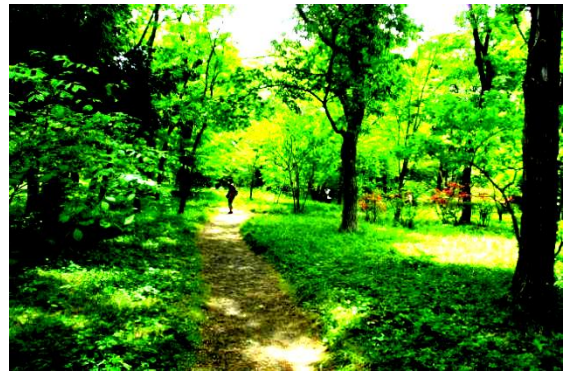
歩き足りないかと、一旦天守跡迄行ってみようか?と思うものの、計画通りに雑木林を逍遥することに。



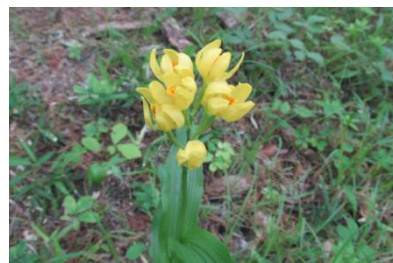
石垣の向こうは本丸ゾーン

雑木林内を濠と平行して

雑木林が本丸ゾーンをセパレートしている。林の間をカーブしている小溪を二の丸休憩所方向に。コナラ・クヌギの樹林が自然林のようで、酸素濃度も濃やかに思わせる。落葉に紛れて金蘭や銀蘭がヘンデルとグレーテルが帰り道を辿ったのと同じような気持ちに。



雑木林内の小溪



金蘭



銀蘭



雑木林を抜けると

二の丸休憩所

二の丸庭園と本丸庭園とのボーダーとして石積の城壁が。手前には城壁を守る白鳥濠。大手門に戻ろうと壕に沿って左手に。



名の無い酒匂を下って行く

足にブレーキを掛けながら今朝登ってきた坂をゆっくりと下って行く。目線の先はスカイスクレーパーの林となっている。

大手門から退城・・・ランチへ



大手門で記念写真を撮る



枳形門から潮見坂からビル群を

大手門から退城。1週早めでの実施で躑躅の花盛りに合わせたウォーキングを楽しむことは、僅かながらではあるものの出来たのだった。

行き交う人々の9割方が外国人。世界観を変える必要があるかも。江戸城開城か？新時代が訪れているかもと。さて、足も疲れたが背中の方の前方もだ。大手門先のパレスホテルへ。同ホテルのメインレストランでのランチとしたいところだが B1階へと。「野菜ソムリエほんのちょっと」へ。蕎麦店ではあるのだがおつまメニューを掘り炬燵の個室にて楽しませてくれた。



大手門前の外堀



パレスホテル

(右側)



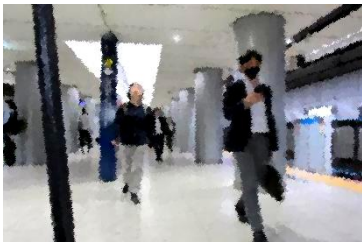
B1・ほんのちょっと



太麺サラダ胡麻だれうどん ¥1200

大手町駅へ

地下鉄は、開通した時代ごとに地中深く潜っている。何度もエレベタを乗り換えさせられて、漸く東西線ホームに。駅員に経路を聞いても説明してくれない理由も納得???



東西線大手町駅

エピローグ

4 月末の花「ツツジ」をテーマにしたウォーキング。咲き誇る朱色のじゅうたんを、見たかったのですが 1 週遅かった。皇室による配慮とメンテナンスのなされた庭園は、武家のそれと融合し、江戸と現代を繋いで WINGS を楽しませてくれた。詫びと華とが調和した修景は、さざ波のように和の感覚を覚えさせてくれました。歩数は4000歩程に。

さて次月5月は菖蒲をテーマにして、明治天皇が皇后様のためにと、作庭を命じた神宮の地・代々木公園東側に作られた菖蒲田を訪れ「菖蒲ウォーキング」を楽しもうと計画しています。

20260421
Suginami WINGS
記JUSTing